



3月の説教より

今年のイースターは3月27日。イースターはイエス様が十字架の上の死から甦ったことを記念し、お祝いする教会の伝統です。ケンタッキーフライドチキンで「ハッピーイースター」というキャンペーンを見たことがあります。クリスマスのように、本当の意味を重んじず、ただのイベントにされてしまう光景が目立つときは悲しいものです。でも「マスコミや商売を通じてキリスト教独特の言葉が、まだイエス様を知らない人の中に抵抗なく溶け込んでいくことがある。皮肉にも、それゆえ私達は神様のことを語りやすい」というのも事実です。このようなこと通じてイエス様は「私の死と復活は、2000年前に起きた過去の出来事であるばかりでなく、今、あなたの毎日の現実の中にも、及んでいるのですよ」と語りかけていらっしゃるかもしれません。何故かといえば、イエス様の死は単なる「死」ではなく、甦りも単なる「神様の子なら生き返ってもあたりまえじゃん」というものではないのです。イエス様が死んでくださったのは、罪を徹底的に嫌われる神様の前に、私たち人間が赦されるための贖いのためでした。そして、復活は、このことを信じる私たちがいつかこの体が滅び、神様の前に立つときに「罪無き者」とされることの約束という意味があるからなのです。奇異の目で見られることなく迎えられるイースター、感謝です。

3日 お誕生会

4月生まれのお友達、お誕生日おめでとう！

祝福のお祈りと、プレゼントがあります。みんなでお祝いしましょう。

24日 “新一年生歓迎会”をします、**全員集合!**

教会学校は、大人も子供も含めて、この地域の全ての方に向けてイエス様のことを述べ伝えていますが、とりあえず今年も、歓迎会は英和女学院の1年生の「教会学校奨励日(4月24日)」にしました。在校生のみなさんは、初めて教会に来るとき、どんな気持ちでしたか？緊張している新1年生や、今年こそは教会に行ってみようかな、というお友達がいたら、是非お誘いしましょう。そして大勢で、あたたかく迎えてあげましょう！

****報告****

<聖書を持ってこよう!>



以前から予告していたとおり、4月から、教会学校でも「学校と同じ“新共同訳聖書”」を使います。出来るだけ、自分の聖書を持ってきましょう！(もちろん忘れてきた人や、礼拝後にお出かけするから荷物になるという人は教会の聖書を使っていいよ。)

<礼拝は、あまり遅刻しないでね(^_^;)>

前奏を聴いて、静かに神様に心に向けてから始めましょう！
(嬉しいニュース：今年は月一回、高木さんが奏楽して下さいます。感謝です！)

4月のメッセージの聖書箇所

3日	マタイ 28:16~20
10日	エフェソ 1:20~23
17日	コリント 1:1~4
24日	使徒言行録 2:46~47

今月の暗唱聖句

教会はキリストの体でありすべてにおいて、すべてを満たしている方の満ちておられる場です。エフェソ 1:23